

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあつては名称) 株式会社 共立精機	住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒 719-1134 岡山県総社市真壁 1 5 1 5
----	--------------------------	----	---

本票作成 部署名：生産部

主たる業種 分類コード 31 業種名：輸送用機械器具製造業

事業の概要 自動車部品製造 従業員：166人

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	東第2工場	岡山県総社市真壁 1 4 8 2
	②	西第3工場	岡山県総社市久代 1 4 0 8 - 5
	③	東本社工場	岡山県総社市真壁 1 5 1 5

特定事業者の該当要件 ①燃料等原油換算1,500kl以上 ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 ③CO₂換算3,000t以上
(●工場等の数 3 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)

温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 元年 年度)	(令和 4) 年度排出量	目標年度 (令和 6 年度)
	4,911 t CO ₂	4,024 t CO ₂	4,665 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 4) 年度排出量
	①	東第2工場	1,787 t CO ₂
	②	西第3工場	1,305 t CO ₂
	③	東本社工場	932 t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間： 令和 2 年度 ～ 令和 6 年度 (5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(4) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 22.4 %	5.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 加工高	原単位当たり排出量		
		基準年度	(4) 年度	目標年度
		3.364 t CO ₂ /(百万円)	4.118 t CO ₂ /(百万円)	3.196 t CO ₂ /(百万円)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 4 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

・温室効果ガス削減に向けた取り組みを可能な限り実施しておりますが、まだまだ生産状況は不安定であり 削減計画の変更も余儀なくされている状況です。取り組み等により削減効果も少しは改善しておりますが大きな削減効果を出すまでには至っておりません。

【推進体制】

・エネルギー管理統括者を中心に各工場の省エネ委員で組織する省エネルギー対策会議を毎月定期的に開催しエネルギーの使用状況、削減に向けた取り組み等の洗い出し、活動計画及び取り組みの進捗状況などに対し確認、討議を行っております。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
(令和4年度実施分)	(令和4年度実施分)
東本社工場	<ul style="list-style-type: none"> ・高効率ランプ・灯具への更新（蛍光灯549灯） (CO2削減量6 t/年)
東第2工場	<ul style="list-style-type: none"> ・高効率ランプ・灯具への更新（水銀灯2灯・蛍光灯265灯） (CO2削減量3.2 t/年)
西第3工場	<ul style="list-style-type: none"> ・高効率ランプ・灯具への更新（水銀灯1灯・蛍光灯573灯） (CO2削減量8.5 t/年)
	<ul style="list-style-type: none"> ・高圧変圧器1台更新、高効率変圧器へ更新 (CO2削減量1 t/年)
(今後実施予定分)	(今後実施予定分)
東第2工場	<ul style="list-style-type: none"> ・高圧変圧器2台更新、高効率変圧器へ更新 (CO2削減量2 t/年)

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

・外部機関による省エネ診断実施。